

会 議 録 (要旨)

会議の名称	多摩北部都市広域行政圏協議会 令和5年度 第1回審議会
開催日時	令和5年8月4日(金) 午後1時58分から午後3時25分まで
開催場所	多摩六都科学館 2階 201会議室
出席者	小平市 石津はるか委員 高橋政美委員 西原政策担当係長 東村山市 土方桂委員 石橋光明委員 秋山企画政策課課長補佐 清瀬市 宮原りえ委員 ふせ由女委員 塩川未来創造課主任 東久留米市 野島武夫委員長 三浦猛委員 佐藤企画調整課長 西東京市 山田忠良副委員長 八矢好美委員 事務局 澁谷桂司 清瀬市長(協議会会長) 今村事務局長 鈴木次長 畠山主査
議 題	(1) 審議会会長、副会長の選出について (2) 令和4年度 多摩北部都市広域行政圏協議会歳入歳出決算について
報告事項	(1) 令和4年度 事業報告書について (2) 令和5年度 多摩北部都市広域行政圏協議会事務日程について (3) 令和5年度 各専門委員会への付託事項について (4) 令和5年度 多摩六都フェアの日程等について
会議資料	資料1-1 多摩北部都市広域行政圏協議会 審議会規程 資料1-2 多摩北部都市広域行政圏協議会・審議会役員表 資料2 令和4年度 多摩北部都市広域行政圏協議会 決算書 資料3 令和4年度 専門委員会の活動報告及び評価について 資料4 令和5年度 多摩北部都市広域行政圏協議会事務日程(予定) 資料5 令和5年度 専門委員会への付託事項 資料6 令和5年度 多摩六都フェアの日程等について 令和4年度 事業報告書 多摩六都広域連携プラン 多摩六都広域連携プラン 概要版
記録方法	発言者の発言内容ごとの要点記録
会 議 内 容	
<p>1 開会</p> <p>●事務局から、会長が選任されるまでの間、事務局長が進行する旨を説明</p> <p>2 多摩北部都市広域行政圏協議会会長 挨拶 第19期審議会委員 自己紹介</p>	

3 議題

(1) 審議会会長、副会長の選出について

●事務局から、資料1-1、1-2に基づき、第19期審議会の会長及び副会長を委員の互選により選出することを提案

—異議なし

●事務局から、審議会会長に東久留米市議会から推薦の野島 武夫委員を選出することを提案
—異議なく、審議会会長は、東久留米市 野島 武夫委員に決定した。

●野島会長から就任の挨拶があり、引き続いて、資料1-2により、副会長に西東京市議会から推薦の山田 忠良委員を選出することを提案

—異議なく、副会長は、西東京市 山田 忠良委員に決定した。

●山田副会長から就任の挨拶

(2) 令和4年度 多摩北部都市広域行政圏協議会歳入歳出決算について

●事務局から、資料2により説明

- ・歳入決算額 17,204,407円、歳出決算額 15,289,175円
- ・歳出は10年間で2番目に大きな額となった。前年度比で約400万円増。協議会Webサイトのリニューアル関係費用が主な要因
- ・歳入 負担金について、東京都市長会から実績額で助成を受け、西東京市からの負担金で収入したため、収入額が予算より小さくなった。

●質疑応答

(宮原委員)

- ・協議会Webサイトのリニューアルで、どこが変わり、どのような成果があったか。

(事務局)

- ・前回のリニューアルから10年程経過し、この間のスマートフォンの普及やウェブアクセシビリティへの要請等を踏まえて実施した。具体的には、スマートフォンで見やすいデザインの採用や、協議会を紹介するページの新設など
- ・リニューアルの効果は検証中だが、リニューアルの影響のない令和2年以前と比較して、閲覧数は増加傾向

4 報告事項

(1) 令和4年度 事業報告書について

●事務局から、令和4年度 事業報告書、資料3により説明

●質疑応答

(三浦委員)

- ・多摩六都フェアのそれぞれの事業費は、全て協議会の費用か。

(事務局)

- ・事業報告書の額は各市の事業費で、協議会の支出はない。圏域の広域連携の事業で、東京都市町村総合交付金の対象となっている。

(三浦委員)

- ①都への申請は、各市が直接行うのか。
- ②各事業の企画や内容は、協議会の中で決めるのか、各市で決めるのか。

(事務局)

- ①協議会事務局で取りまとめて提出
- ②専門委員会等で企画検討するものと、各市で企画するものがある。
スポーツ事業、緑の保全事業は前者。青少年健全育成事業は、過去に社会教育専門委員会で始め、専門委員会廃止後は連絡会で必要に応じ対応する。文化事業は後者だが、文化の実務者連絡会の立ち上げを予定している。

(三浦委員)

- ・産業振興等と連携させると、より活気が出て注目度が高まると考える。

(宮原委員)

①図書館の相互利用について

他市で借りた本を自市で返却できるようにしてほしいと以前要望したが、その後如何か。

②公園事業についての意見

指定管理者制度では職員が専門性を維持する方策が必要と考える。また、公園の活性化には愛着が必要であり、地元の事業者や団体を巻き込むようにしてほしい。

③体育施設の相互利用について

施設維持が財政的に厳しく、プールの廃止等があった。子ども達も相互利用できるような取組を進めてほしい。方向性を伺う。

(事務局)

①図書館の担当者会議で伝えているが、システム等の都合上難しいと聞いている。引き続き伝えていく。

②緑化専門委員会では、各市の民間能力の活用や市民協働について意見交換を行っており、本年度は市民参加の取組の意見交換を予定している。

③生涯スポーツ専門委員会で、Webサイト等の情報発信の工夫を行った。引き続き広報を検討していく。

(宮原委員)

①引き続き検討いただきたい。

②市民協働、市民参加の意見交換を進めてほしい。

また、公園は防災拠点であり、指定管理者側だけでなく市もしっかり対応してほしい。

③情報も重要だが、例えば夏休みに子どもがプールに行けるような取組も、お金がかかるが、検討してほしい。

(ふせ委員)

①公園管理について、アダプト制度とボランティアの違いは何か。

②緑化専門委員会で行った「都市農地の保全の推進」の意見交換について伺う。

(事務局)

①アダプト制度（アドプト制度）は、市民や団体が一定の場所の「里親」となり責任をもって管理し、市が保険や資材を提供する一歩進んだ制度

②多摩六都広域連携プランに掲載の項目で、委員は各市の直接の担当ではないが、緑に関連する内容のため、各市の状況について意見交換した。

(2) 令和4年度 多摩北部都市広域行政圏協議会事務日程について

●事務局から、資料4により説明

—質疑なし

(3) 令和5年度 専門委員会への付託事項について

●事務局から、資料5により説明

- ・本年4月に各専門委員会の委員長（小平市）あてに付託し、すでに活動を開始している。委員長と協力して、「多摩六都広域連携プラン」を推進していく。

●質疑応答

(ふせ委員)

- ・都市建設専門委員会。鉄道駅のバリアフリー化やホームドアの整備の進捗状況は如何か。

(事務局)

- ・令和4年度事業報告書8ページ。連続立体交差事業により新設される東村山駅のホームドア設置に関する基本事項について、市と西武鉄道との間で覚書を締結した。

(4) 令和5年度 多摩六都フェアの日程等について

●事務局から、資料6により説明

- ・本年度は9つ全てのイベントを開催予定。
- ・9月3日（日）発行予定の「協議会ニュース」に、多摩六都フェアの開催案内を掲載する。
一質疑なし

5 その他

●審議会のデジタル化・ペーパーレス化について

(土方委員)

- ・今回、資料が事前に郵送されたが、作成や郵送で事務局に負担がかかっている。
- ・東京都市議会議長会会長を務めた経験から、市議会でタブレット配布が始まっていることを踏まえ、冊子以外はメール送付する等、デジタル化・ペーパーレス化を進めることを提案する。協議会会長の意見を伺う。

(澁谷協議会会長)

- ・審議会で了承があれば、対応する。

(野島会長)

- ・土方委員の提案について、各委員いかがお考えか。

(山田副会長)

- ・メールでPDFが送られて、紙が必要な人は、事務局に別途依頼するのか。

(土方委員)

- ・効率化の観点から、原則タブレットやパソコンで持参する。紙が必要な場合は、各自で印刷して持参する。

(高橋委員)

- ・小平市はタブレットが導入されたばかりで、紙と両方使っているが、慣れればタブレットの方を使う。デジタル化はよいと思う。

(八矢委員)

- ・冊子等も当日確認すればよいものは、極力郵送を減らしてよい。
- ・メールアドレス等は各市の議会事務局に確認してもらうよう、併せて検討願う。

(宮原委員)

- ・清瀬市議会もタブレット導入の方向である。個人的には慣れない部分もあるが、負担軽減やペーパーレス化の方向でよい。

(三浦委員)

- ・異論なし。全部データ化でも段階的实施でも、事務局のやりやすいように進めればよい。

(山田委員)

- ・方向性としては賛成
- ・端末持込についての規定や禁止規程等はないか、審議会委員が賛成すれば始められるか。

(事務局)

- ・持ち込みの規程等はない。実施の方向で検討する。
- ・各市議会でのタブレット利用等を事務局から各市に確認して準備を進める。並行して委員への照会等に協力いただきたい。

(石橋委員)

- ・デジタル化・ペーパーレス化は進めるべき。できるところからやってもらえればよい。
- ・会議室でWi-Fiが使えるか。使えなければ、事前にデータをダウンロードする必要がある。

(事務局)

- ・施設面についても確認する。

(澁谷協議会会長)

- ・委員からの意見を基に、実施の方向で検討し、できれば次回からペーパーレス化を導入する。課題があれば相談する。忌憚のないご意見を賜り感謝する。

(野島会長)

- ・協議会会長から、ペーパーレス化とパソコン、タブレットの持込の形で前向きに検討すると伺った。審議会委員全員の要請ということでお願いする。

●多摩東京移管130周年記念イベントについて

(宮原委員)

・都議会議員との情報交換の中で、「たまトレジャーハント」というスタンプラリーが7月22日から開催されていると聞いた。記念イベントについて各市の関わりなど情報があれば伺いたい。

(事務局)

・東京都総務局行政部発案のイベント。スタンプラリーは、都からスタンプ箇所等の照会があった。各市と事務局からいくつか推薦し、都の業者が調整の上、全体130箇所スタートした。

・10月28日、29日には立川駅北口サンサンロードでイベントが行われる。各市ともブース出店の予定で、広域行政圏協議会も各市とは別にブースを出店する。内容は専門委員会で検討中。

(宮原委員)

・各市連携して盛り上げてほしい。

6 閉会